

平成 19 年度の実証試験の実施状況について

- 平成 19 年度は実証機関として（財）東京都環境整備公社、（財）九州環境管理協会が選定され、両機関において、技術の募集・選定、実証試験計画の策定、実証試験及び実証試験結果の検討が行われている。

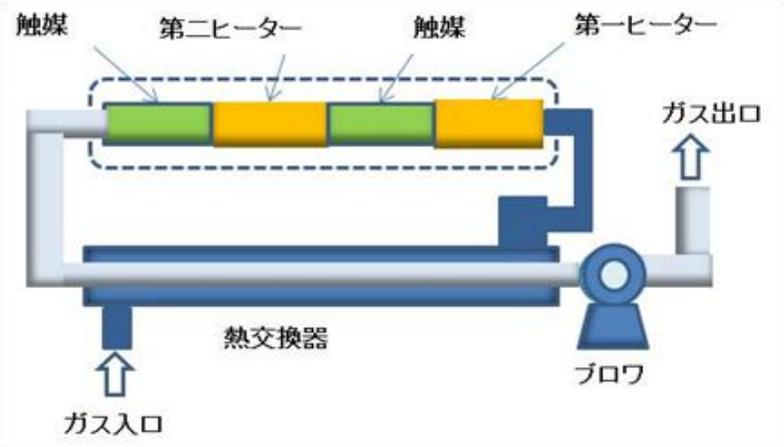
- （財）東京都環境整備公社の技術公募に対し、3 技術の申請があり、以下の 2 技術が選定された。
 - ・ 高温酸化触媒方式 VOC 脱臭処理装置 AUY -0100PP [酸化触媒処理]
環境技術開発者: 有限会社アマリ精工
 - ・ 酸化エチレン排ガス処理装置 イーオークリア YP -16 [光触媒処理]
環境技術開発者: ワイピー設備システム株式会社※技術詳細は別紙

- （財）九州環境管理協会の技術公募に対し、1 技術の申請があり、以下の 1 技術が選定された。
 - ・ マックスオゾンリアクター(ガス処理用) MR-100 [オゾン分解処理]
環境技術開発者: 吸着技術工業株式会社※技術詳細は別紙

(以上)

実証対象技術の概要(中小事業所向けVOC処理技術分野)

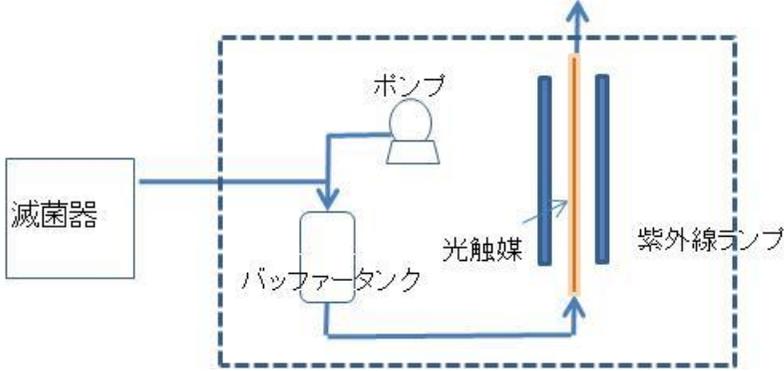
財団法人東京都環境整備公社

実証対象技術名 (申請者名)	技術の内容
<p>高温酸化触媒VOC脱臭処理装置 [有限会社 アマリ精工] (神奈川県横浜市)</p>	<p>○塗装・印刷工場等のVOCを酸化触媒で分解する装置である。 ○装置の構成は排ガスを 150～350℃に加熱するヒーター部とハニカム状セラミックス触媒を直列に配置した反応部及び、排ガスの熱を再利用する熱交換器からなる。</p> 

* 実証対象技術の内容については、申請者からの情報をもとに記載しています。

実証対象技術の概要(中小事業所向けVOC処理技術分野)

財団法人東京都環境整備公社

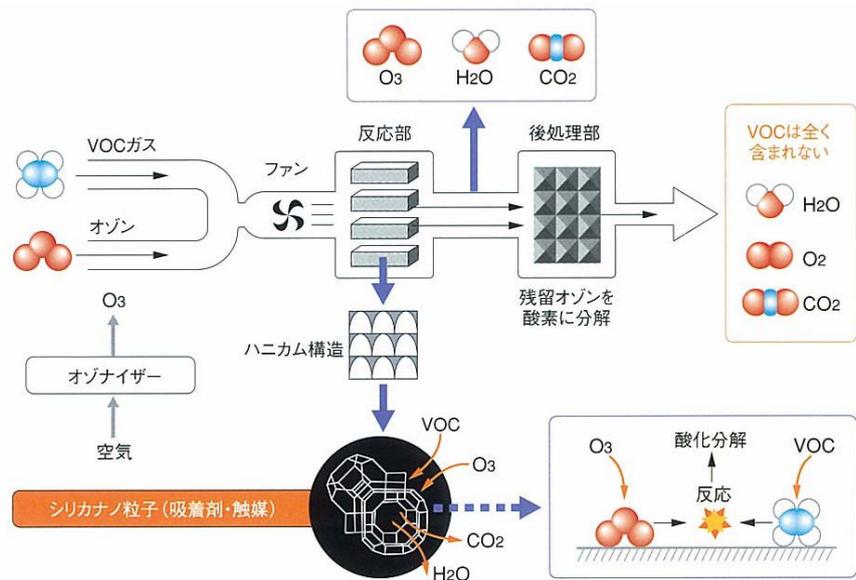
実証対象技術名 (申請者名)	技術の内容
<p>酸化エチレン排ガス処理装置 [ワイピー設備システム株式会社] (静岡県浜松市)</p>	<p>○病院で使用する滅菌器から排出される酸化エチレンを光触媒で分解する装置である。 ○装置の構成は滅菌器からの排ガスを吸脱着するバッファータンク及び、光触媒ユニットと紫外線ランプの反応部からなる。</p> 

* 実証対象技術の内容については、申請者からの情報をもとに記載しています。

実証対象技術の概要 (中小事業所向け VOC 処理技術分野)

財団法人九州環境管理協会

実証対象技術名	マックスオゾンリアクター(ガス処理用)
申請者名	吸着技術工業株式会社 (住所:長崎県大村市池田 2-1303-8)
技術の内容	<p>○印刷・プラスチック加工・塗装等に伴う VOC をオゾンによって分解する装置です。</p> <p>○VOC 以外には、悪臭除去及び農産物鮮度保持のためのエチレンカット等へも適用出来ます。</p> <p>○装置の構成は、オゾン発生部、オゾンと VOC ガスを反応させる反応部、残留オゾンを分解する後処理部からなります。</p> <p>○常温で動作します。</p>



実証技術の内容については、申請者からの情報をもとに記載しています。